

## — 地方講演会 —

### 平成元年度北海道支部地方講演会雑感

札幌管区气象台 足立 孝幸

平成元年度の第1回支部理事会が6月9日气象台で開催された。審議事項の一つである地方講演会について話し合いが持たれ、担当理事から今年度は、日本農業気象学会北海道支部と共催で実施したい旨の提案があり、了承された。

次に、開催地について、候補地として網走・旭川・帯広・空知・後志管内が上げられた。また、「農業気象学会では、網走・帯広ならやり易いといっている」との話が出され、これらを中心に話し合いがもたれたが決定するには至らなかった。しかし、6月中には場所をしばり8月には準備にかからなければならないので、担当理事を中心に話を進めることになった。後日、担当理事が白羽の矢を立てた網走に折衝したところ、快く引き受けてくれることになり開催場所は決まった。

現地事務局を網走地方气象台の防災業務課長にお願いし、早速準備に取りかかり、対応が早かったことから会場の確保などは順調に運ばれ、開催日時は11月28日の午後(13:00~17:00)で、「最近のオホーツク海沿岸の農業と気象」をテーマとし、4題の講演と映画「気象衛星から見る四季の天気」の上映も決まった。その後の準備は、現地が積極的に取り組んでくれたのでとどこおりなく進み、あとは当日を待つのみとなった。

講演会の当日、早朝札幌を出発千歳から空路女満別をへて現地入りした。講演会場の準備は現地応援団によりすでに終わり、あは開場を待つばかりである。

今にも降り出しそうな曇り空の中で12時に開場したが、聴講者の入りは鈍く開場後30分経っても数名で、つい不安になり現地の世話役に大丈夫かなと何度も念を押していた。それも嘘のように20分前、10分前と次第に出足が急速に良くなり開演時間になっても続々と入場するので、時間を10分程遅らせて講演を始めた。

結局、聴講者は200余名集まり、職業と多種多様に渡っていたが、中でも農業関係者が多かったのが目についた。

講演会は網走地方气象台飯澤防災業務課長の座長により進められ、講演の中では熱心な質問もあり講師もたじたじの一幕もあった。講演会の終わり頃から心配していた雨が降り出してきたが、何故かホッとした。

最後に、今回の講演会を無事に催すことが出来たのも、網走市との折衝や関係機関・一般市民に対するPR、及び会場の準備・講演会場の運営において数々のお手伝いを頂いた、網走地方气象台と気象協会網走支部の職員の皆様のご協力によることが大きく厚くお礼申し上げます。